

アジア平和貢献センター共催シンポジウム プーチン政権下のロシアとこれからの日ロ関係

〈パネリスト1〉

2018年

ロシア政治の課題

法政大学法学部教授

下斗米 伸夫



〈パネリスト3〉

ロシアの経済状況と

日ロ関係の現状と課題

(株)ロシアユーラシア政治経済
ビジネス研究所代表取締役

隈部 兼作



〈パネリスト2〉

ロシアは何と

戦っているのか

未来工学研究所特別研究員

小泉 悠



〈パネリスト4〉

日ロ平和条約交渉の

現状と展望

京都産業大学教授、
世界問題研究所長

東郷 和彦



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は毎年恒例になっておりますアジア平和貢献センターとの共催シンポジウムでございます。テーマは「プーチン政権下のロシアとこれからの日ロ関係」でして、多彩なメンバーの方4人にお集まりいただきました。前半は20分ずつご講演をいただき、休憩の後、パネルディスカッションを行いたいと思います。

皆さんもロシア問題についてはご関心がおありかと思いますが、プーチン訪日以降、日本では情報が非常に不足しておりますし、なかなか新しい進展がないまま過ぎてしまっております。そういうことで、ロシアの現状と日ロ関係について、最新の情報、分析を今日はじっくりお聞きいただきたいと思います。

それでは、共催者でありますアジア平和貢献センター理事長の西原先生から一言ご挨拶をいただきますと思います。（拍手）

西原 ただいまご紹介をいただきました、本日のシンポジウムの共催者、一つの柱でありますアジア平和貢献センターの理事長を仰せつつっております西原でございます。

年に1回、経済倶楽部と共催ということでシンポジウムを開催してまいりました。今年で6回目になります。昨年は「ヨーロッパはどこへ行く」というテーマで開催いたしました。今年にはロシアをテーマとさせていただきます。ロシアといいますが、日本では北方領土の問題がいちばんの関心事でございます。一昨年の12月15日、安倍総理が故郷の山口県の温泉にプ